

- ・PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通して、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



グリヨン

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

製造年	00	000	AA	0000
製造日	00	00	00	00
検査担当	00	00	00	00
識別番号	00	00	00	00

コード B:

製造年	00	A	0000000	000
製造月	00	00	0000000	000
製造番号	00	00	0000000	000
識別番号	00	00	0000000	000



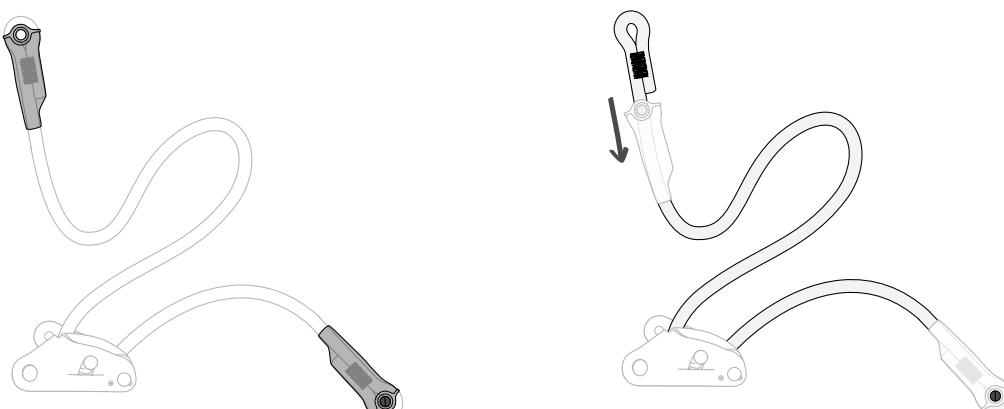
耐用年数を超えていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

備考: 『グリヨン』には、2つの識別番号があります (ロープおよび金属パーツに1つずつ)

3. ランヤードの末端の点検

- ・ランヤードのコネクターを外してください (可能な場合)。
- ・保護スリーブの状態 (ひび、変形等) を確認してください。可能な場合、ランヤード末端のスリーブを移動させて、縫製箇所の状態を確認してください。安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。



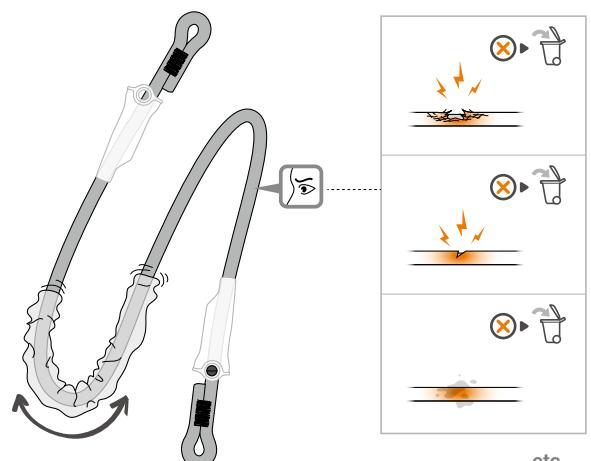
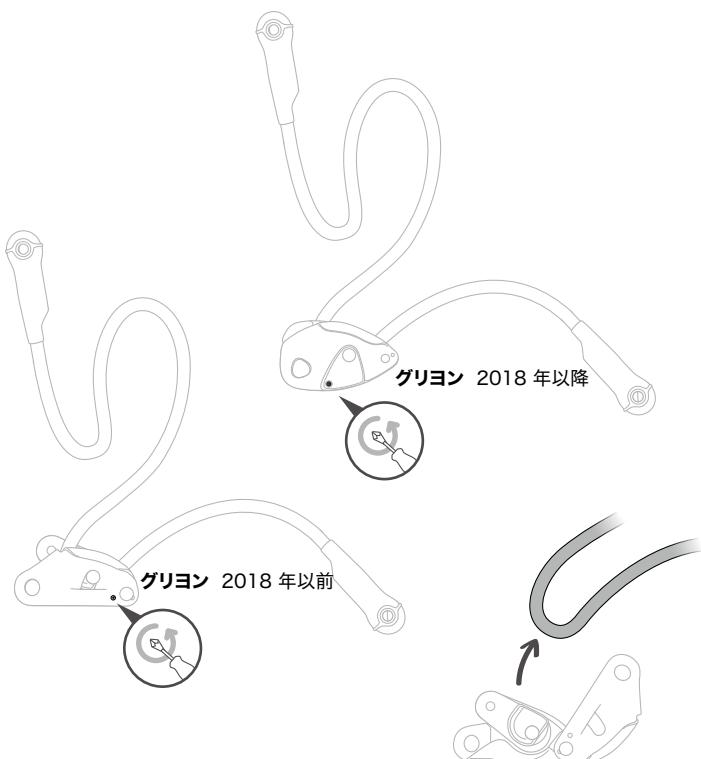
- ・ロープの2つのアタッチメントホールの状態を確認してください。



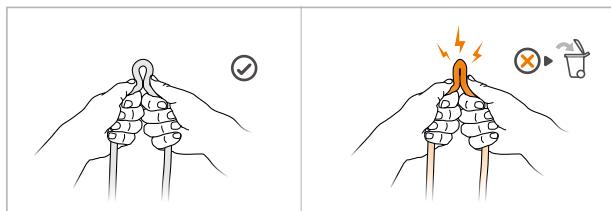
4.ロープの点検

- ・調節器のサイドプレート固定用スクリューを外して、『グリヨン』からロープを取り出してください。

- ・外皮に使用による摩耗や損傷（切れ目、毛羽立ち、化学製品との接触による損傷等）がないことを確認してください。保護スリーブをずらして、ロープの状態を全長にわたって確認してください。



- ・ロープ全体を手に通し、芯の状態（かたい箇所、膨張、柔らかいまたは潰れた箇所等）を点検してください。



- ・必要に応じてロープを廃棄して、『グリヨン』交換用ロープと交換してください。



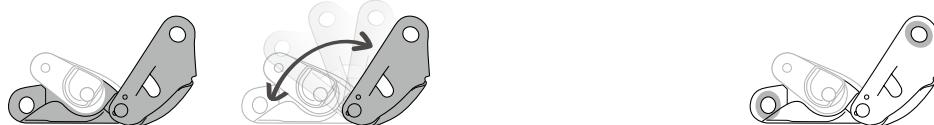
5.コネクターの点検

- ・コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを Petzl.com から参照してください。

6.フレームの点検

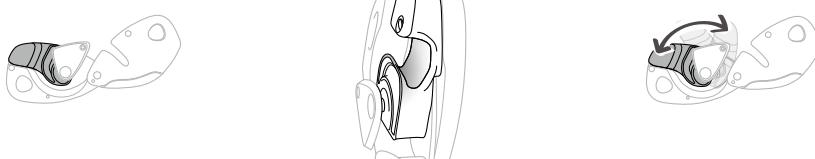
- ・フレームおよびサイドプレートの状態 (傷、変形、汚れ、ひび、腐食など) を確認してください。サイドプレートが適切に開閉することを確認してください。

- ・アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

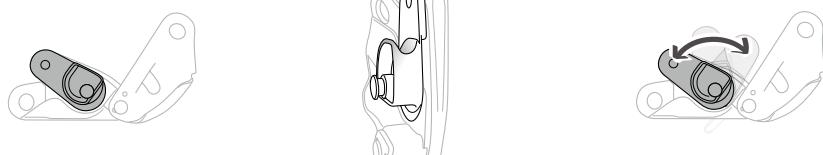


- ・カムの溝の状態およびカムの動きが妨げられない (スプリングは内蔵されていません) ことを確認してください。器具の中に異物 (泥、砂等) がないことを確認してください。

グリヨン 2018 年以降



グリヨン 2018 年以前



- ・ハンドルの状態 (傷、変形、ひびなど) を確認してください。ハンドルのスプリングの戻りを確認して下さい。

- ・リベットおよびサイドプレート固定用スクリューの状態を確認してください。

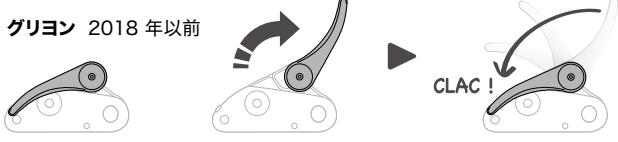
グリヨン 2018 年以降



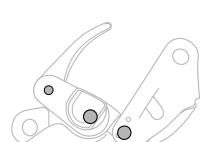
グリヨン 2018 年以降



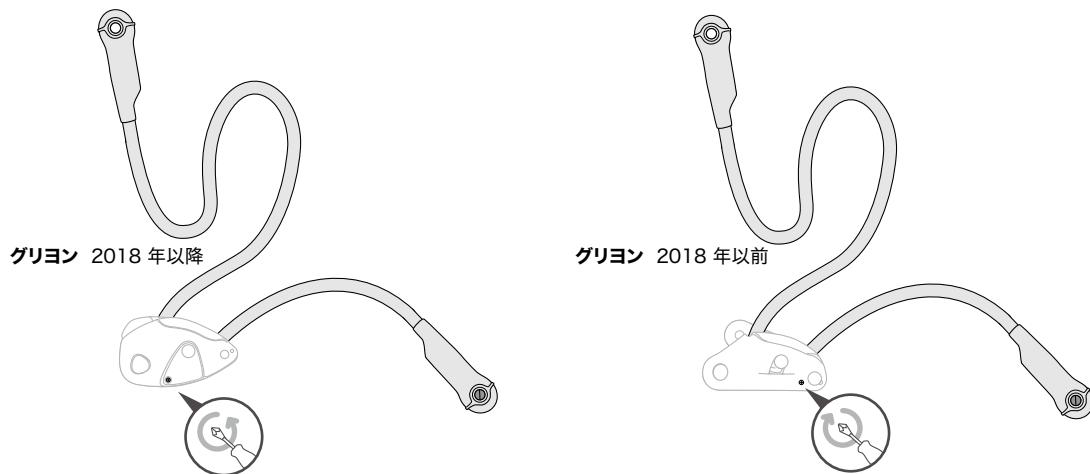
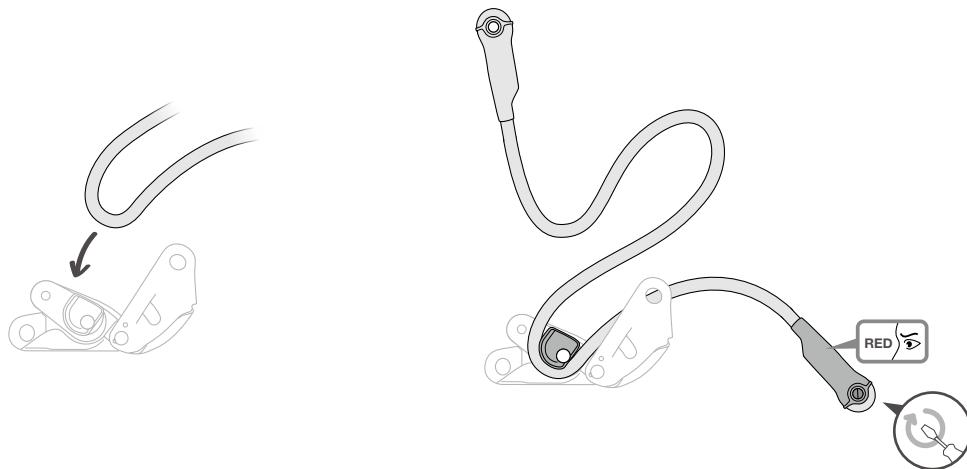
グリヨン 2018 年以前



グリヨン 2018 年以前

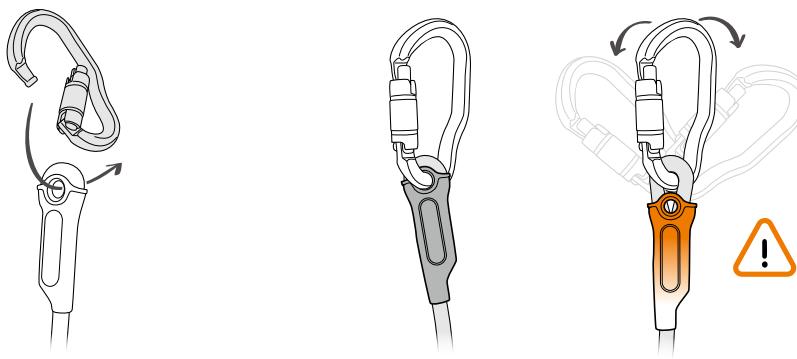


- ・ロープの向きに注意して、器具の中にセットしてください。サイドプレート固定用スクリューを取り付けてください。



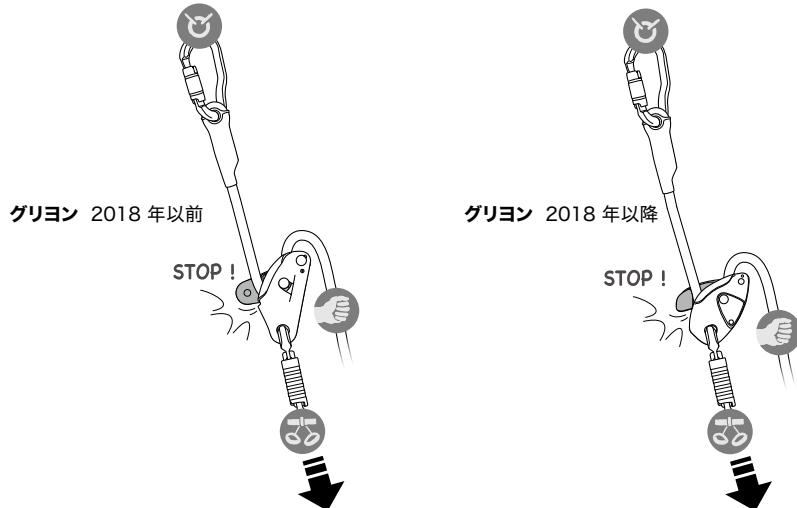
7.コネクターの取り付け

- ・コネクターを交換 (EN 362) する際は、プラスチック製保護スリーブがコネクターを適切な位置に維持していることを確認してください。。



8.機能確認

- 器具をハーネスにセットした状態で機能確認を行ってください。支点側のロープを引き、器具がロープをロックすることを確認してください。



9.補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・ロープの切れ目



・傷



・動かなくなったカム



・リベットの欠損



・化学物質と接触した痕跡



・サイドプレート固定用スクリューの欠損

